

都道府県ヨット・セーリング連盟 各位

(財) 日本セーリング連盟  
国 体 委 員 会

## 国民体育大会の改革について

(財) 日本体育協会の国体改革については以前にも JSAF 評議員会及び全国委員会会議で、ご説明申し上げていますが改めてご案内します。

## 1. 国体参加人員の削減について (日本体育協会)

## (1) 参加人員の削減

現行799名を703名とする。(96名削減)

- ① 監督の削減 現行監督3名を成年監督1名、少年監督1名の2名とする。(47名削減)  
 ② 選手の削減 下記の4種目について削減する。(49名削減)

種 別	種 目	本大会出場都道府県数
成年男子	国体ウインドサーフィン級	43
成年女子	国体ウインドサーフィン級	32
少年男子	セーリングスピリッツ級	42
少年女子	セーリングスピリッツ級	37

- ③ 実施時期 平成20年第63回大分国体から実施する。

## (2) ブロック大会について

## ① ブロック大会の実施方法

- (i) 削減された種目は日体協のブロック区分によりブロック大会を実施する。  
 (ii) ブロック別の本大会出場枠は別紙のとおりとする。  
 但し、国体開催都道府県は本大会に全種目参加できる。  
 (iii) ブロック大会の実施方法等(大会規模及び参加艇数等)は各ブロックの任意とし大会の経費は各ブロックの都道府県連盟(競技団体)が負担する。  
 また、ブロック大会に経費をかけない方法として既設の大会を採用してもよい。  
 (iv) 各ブロック大会において各種目の参加都道府県数が本大会出場枠数以下の場合はブロック大会を実施せず参加申込みした都道府県が本大会へ出場できる。

## ② 参加資格等

- (i) ブロック大会への出場は都道府県大会に参加し通過した者であること。  
 (ii) 本大会の参加出場枠はブロック大会で獲得した都道府県に与えられる。  
 但し、都道府県大会、ブロック大会に参加し通過していなければ本大会に出場できない。

## 2. 中学3年生の参加について

平成20年第63回大分国体より少年男子、少年女子の種目に中学3年生の参加について導入が決定された。

## ブロック別本大会出場枠

平成20年第63回大分国体からのブロック大会種目

県番	都道府県名	ブロック予選 区 分	成年男子 ウインド	成年女子 ウインド	少年男子 SS級	少年女子 SS級
1	北海道	北海道 1道	1	1	1	1
2	青森	東 北 6 県	④	②	6	⑤
3	岩手					
4	宮城					
5	秋田					
6	山形					
7	福島					
8	茨城	関 東 1 都 7 県	8	⑤	⑥	⑥
9	栃木					
10	群馬					
11	埼玉					
12	千葉					
13	東京					
14	神奈川					
15	山梨					
16	新潟	北信越 5 県	④	②	③	③
17	長野					
18	富山					
19	石川					
20	福井					
21	静岡	東 海 4 県	4	③	4	4
22	愛知					
23	三重					
24	岐阜					
25	滋賀	近 畿 2 府 4 県	6	⑤	6	⑤
26	京都					
27	大阪					
28	兵庫					
29	奈良					
30	和歌山					
31	鳥取	中 国 5 県	5	③	5	④
32	島根					
33	岡山					
34	広島					
35	山口					
36	香川	四 国 4 県	③	③	③	②
37	徳島					
38	愛媛					
39	高知					
40	福岡	九 州 8 県	8	8	8	⑦
41	佐賀					
42	長崎					
43	熊本					
44	大分					
45	宮崎					
46	鹿児島					
47	沖縄					
計			43	32	42	37

\* 平成20年 第63回大分国体から実施する。

\* ○数字はブロック大会を実施する種目であり、ブロック別の本大会出場枠数である。

\* ブロック内に国体を開催する都道府県がある場合は開催都道府県は全種目、本大会に出場できるため、上記のブロック別の○数字から1を引いた数が本大会出場枠数である。